

防府のNPOに
丸紅基金が助成
50万円

難病患者を支援する

防府市のNPO法人「みらいプラネット」に対し、総合商社の丸紅が設ける社会福祉法人「丸紅基金（東京）」が4日、助成金50万円を贈った。

丸紅中国支社（広島市中区）の貞益徹支社

長が同法人の有富健理事長に贈呈書を手渡した。有富理事長は「難病への理解を広めるために使いたい」と感謝していた。貞益

支社長は「活動の助けになれば」と話していた。同法人は2012年11月設立。病気への理解が薄く職場などで苦

労する難病患者の相談に乗ってきた。これ

までに約700人にカウンセリング。難病への啓発にも取り組むことなどが評価された。

有富理事長自身も全国で約150人程度しか認知されていないという血管が変形して血

が流れにくくなる病気が流れている。有富理事長は「難病は原因が見つからずに苦しむ場合が多い。今後同じ

悩みを抱える人に寄り添いたい」と話す。



貞益支社長（左）から助成金の贈呈書を受け取る有富理事長

みらいプラネットに50万円

丸紅基金が社会福祉助成金贈る

丸紅基金（東京都・国分文也理事長）は4日、P O法人みらいプラネット「難治性血管奇形」という血管が変形する病気の啓発活動や患者の支援活



〈有富理事長（左）に贈呈書を手渡す貞益支社長〉

丸紅基金は、昭和49年障害者、児童・青少年に設立。翌年から全国の高齢者関連のほか、女性

保護、難病、貧困救済など多岐にわたる福祉施設及び事業に社会福祉助成金を贈っている。今年44回目。累計2547件、総額44億円。
みらいプラネット事務所で行われた贈呈式では、丸紅中国支社（広島市・貞益徹支社長）の貞益支社長が有富理事長に助成金贈呈書を手渡した。
助成金は、難病患者理解促進のための次世代教育研修事業に活用される。

丸紅基金が社会福祉助成金

みらいプラネットに50万円

啓発資材の作製に活用



助成金贈呈書を手にする有富理事長(左)と貞益支社長

から社会福祉助成金50万円が贈られた。

この日、丸紅中国支社(広島市)の貞益徹支社長がみらいプラネットを訪れ、有富理事長に目録を手渡した。有富理事長は「非常にありがたい。啓発用のDVD、漫画絵本の作製に使わせていただき、公共福祉に役立てたい」とお礼を述べた。同基金は1974年に設立され、翌年から障害者、児童・青少年、女性保護、難病など多岐にわたる分野の福祉施設・団体に毎年総額1億円の助成を全国で続けている。今年で44回目。累計助成件数は2547件。

(入江孝治)



講演する有富理事長

障害者福祉セミナーで

有富理事長が講演

笑顔あふれる共生社会の実現に向けて、市文化福祉会館(緑町1丁目)で4日、障害者福祉セミナーが開かれ、NPO法人みらいプラネットの有富理事長が、「見守り愛、障害者も安全に暮らせるまちづくり」と題して講演。約80人が聴講した。

有富理事長は患者としての闘病談や差別、難病への理解と偏見の解消、ひとつづくり、まちづくりについての考えを話した。

有富理事長は県職員

で、市社会福祉協議会評議員、産業カウンセラー、キャリアアコンサルタント、THP心理相談員も務める。

(入江孝治)

一部難病に指定された難治性血管奇形の患者支(新橋町)に3日、社会援などに取り組むNP福祉法人丸紅基金(東京)

防府市まなぼら
平成30年11月1日

障害者福祉啓発セミナー

日 12月4日(火) 開場 13:00 開会 13:30
場 防府市文化福祉会館 大会議室(3階4号)
内 「見守り愛、障害者も安全に暮らせるまちづくり」
講師 有富 健 さん
(NPO法人みらいプラネット 理事長)
対 どなたでも
¥ 無料 ※申込みは不要
問 防府市社会福祉協議会 地域福祉係
TEL (0835) 22-3907
FAX (0835) 25-1388

筆記
通訳
あり
要
手
話

市広報「ほうふ」
平成30年12月1日



講座

市障害者福祉啓発セミナー

対象 どなたでも

とき 12月4日(火)

午後1時30分～3時30分

ところ 市文化福祉会館 3階4号 大会議室

内容 「見守り愛、

障害者も安全に暮らせるまちづくり」

講師 有富 健さん

(NPO法人みらいプラネット理事長)

受講料 無料

定員 130人【先着順】

※手話通訳・要約筆記有。

問合せ 社会福祉協議会 地域福祉係

☎ 22-3907 ☎ 25-1388